

第五十六回 貴族院議事速記録第二十七號

昭和四年三月十二日(火曜日)

午前十時二十四分開議

議事日程 第二十七號 昭和四年三月十二日

午前十時開議

- 第一 競馬法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 開墾助成法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 大正十三年法律第十號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 學校及圖書館特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 國寶保存法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 家畜保險法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 家畜再保險特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 大正十五年年度歲入歲出總決算、昭和十五年年度各特別會計歲入歲出決算報告 議(委員長報告)
- 第十一 六大都市ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十二 日豐線鐵道杵築、日出兩驛間ニ停車場設置ノ請願 會
- 第十三 軍人傷痍記章令中改正ノ請願 會
- 第十四 雄武、枝幸間鐵道敷設ノ請願 會
- 第十五 水産統計整備ニ關スル請願 會
- 第十六 船木鐵道線路ニ關スル請願 會
- 第十七 鍼灸醫師法制定ノ請願 會
- 第十八 名松線鐵道速成ノ請願 會

- 第十九 盲人保護法制定ノ請願 會
- 第二十 震災荒廢林地復舊ニ關スル請願 會
- 第二十一 一時金廢兵恩給法改正即行ニ關スル請願 會
- 第二十二 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル請願 會
- 第二十三 美國漁港修築ノ請願 會
- 第二十四 厚内漁港修築ノ請願 會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

去ル六日可決シタル議員正五位勳三等松本剛吉君ニ對スル弔辭ハ去ル七日之ヲ贈レリ

去ル七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

朝鮮簡易生命保險特別會計法案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

六大都市ニ關スル法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和四年度歲入歲出總豫算案、昭和四年度各特別會計歲入歲出總豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件可決報告書

蠶絲業法中改正法律案可決報告書

開墾助成法中改正法律案可決報告書

大正十一年法律第五十二號中改正法律案可決報告書

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

健康保險特別會計法中改正法律案外二件特別委員會

- 委員長 嘉納治五郎 君
- 副委員長 男爵 佐藤達次郎 君
- 委員長 男爵 嘉納治五郎 君
- 副委員長 男爵 佐藤達次郎 君
- 府縣制中改正法律案外四件特別委員會
- 委員長 伯爵 松本剛吉 君
- 副委員長 伯爵 川崎卓吉 君

去ル八日昭和三年勅令第二百二十九號(承諾ヲ求ムル件)特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 大島 健一 君
副委員長 富谷銚太郎 君

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第三號

去ル九日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

競馬法中改正法律案修正報告書

帝國鐵道會計法中改正法律案可決報告書

家畜保險法案可決報告書

家畜再保險特別會計法案可決報告書

昨十一日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

絲價安定融資補償法案可決報告書

國寶保存法案修正報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、佐佐木侯爵病氣ニ付キ九日間、北條時敬君病氣ニ付キ十四日間、富安保太郎君病氣ニ付キ會期中ノ請暇ノ申出デガゴザイマシタ、何レモ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 昨十一日佐佐木侯爵病氣ニ付キ豫算委員、地租條例廢止法律案外十六件特別委員及昭和三年勅令第二百二十九號承諾ヲ求ムル件ノ特別委員ヲ辭任イタシタキ旨ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ第三部ニ於テ豫算委員ノ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス、地租條例廢止法律案外十六件特別委員ノ補闕トシテ細川侯爵ヲ指名イタシマス、昭和三年勅令第二百二十九號特別委員ノ補闕トシテ鍋島侯爵ヲ指名イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、日程第一、競馬法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

競馬法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月九日

右特別委員長

侯爵 四條 隆 愛

貴族院議長公爵徳川家達殿

(小字及ハ委員會修正)

競馬法中左ノ通改正ス

第二條第二項中「四日」ヲ「六日」ニ改ム

第八條第一項中「百分ノ一」ヲ「百分ノ三」ニ改ム

附則第二項中「十一」ヲ「十六」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔侯爵四條隆愛君演壇ニ登ル〕

○侯爵四條隆愛君 競馬法中改正法律案特別委員會ノ經過竝ニ結果ニ付御報告申上ゲマス、此委員會ハ二月十九日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、爾後四回ニ互リ會議ヲ開キマシテ慎重審議イタシマシタ、委員會ニ於キマスル質問應答ノ概況ニ付テ申述ベマスレバ、第一ニ競馬場ニ於ケル出走馬數ガ激増シ、現在ノ競馬場ノ數デハ實行出來兼ネルト云フ理由ニ對シマシテ、昨年中全國十一ノ競馬場ニ實際出走シタル數ヲ調べ見マスト千六百六十六頭デアリマシテ、開催一回ノ平均出走シタル頭數ハ僅ニ六頭ニ過ギマセヌ、競馬場ハ其幅員ノ規定ニ依リマシテ一回二十五頭乃至二十頭マデ出走シ得ルノデアリマスカラ、前ニ述ベタ平均六頭ト云フコトニナッテ居リマスカラ、マダ大分出走餘裕ガ存シテ居ルモノト認ムルコトガ出來ルデハナイカ、又政府ハ競馬場ニ實際出走シ得ル資格ノ馬ヲ計上シテ三千頭ト云フ數字ヲ擧ゲテ居リマスガ、ソレハ資格アリト稱スルモノノ數字ヲ竝ベテ見タニ過ギズ、其内容ニ付テ見ルトマダ十分ニ首肯シ難キモノマデモ計上シテ三千頭トシタ感ガアリマシテ、

事實コ、數年間實際出走スル馬ハサノミ多イモノデハナイガ故ニ、現在ノ法人ニ對シ開催日數ヲ若干増加スレバ收容力ハ十分餘裕アルデハナイカ、又健實ナル馬ヲ造ルノハ、馬政第二期計畫ノ大本デ、現在ノ競馬場ノ數デハ到底其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトニ對シマシテハ、昭和二年ノ地方競馬規則ヲ發布シタ際、地方競馬ノ使命トモ云フベキモノヲ發表シ、「アラブ」「アングロアラブ」系統ノ競馬竝ニ速步競馬等ヲ此地方競馬ニ要望シテ居ルノデアアルカラ、此際遠ニ法人數ヲ増加シナクトモ、地方競馬ニ依ッテ其目的ノ一部ハ達セラレルデハナイカト云フヤウナ應答ガアリマシタ、又健實ナル馬ヲ造ルタメニ不齊地競馬ヲ施行スル意圖ハナイカト云フ委員ノ質問ニ對シマシテ、陸軍當局ハ強健持久ノ性質ヲ養成スル爲ニ負擔量ヲ増シ、距離ヲ延長シ尙ホ八字形ヤ障礙ヤ不齊地ヲ含シテ馬場ヲ是非共要望スルト云フ意見ガアリマシテ、農林當局モ此點ハ同意デアアルガ、マダ具體的ノ説明ヲスル迄ニ協議ハ進ンデ居ナイトノコトデアリマシタ、又地方競馬ノ取締ニ關シテ質問ガアリマシタガ、今日迄經費ガ無イ爲ニ十分監督ガ出來ナイ、將來監督ヲ嚴ニシ、尙ホ其改善指導ニ注意スルト云フコトデアリマシタ、右ノ様ナ質問應答ガアリマシテ討論ニ入りマシテ、一委員カラ次ノ通りノ修正案ノ申出ガアリマシタ、即チ法人數ハ現在ノ通り十一ニテモ、開催日數ヲ二日間延長スレバ、政府所期ノ目的ヲ達スルニ十分思ヒマスカラ、此際法人數五箇所ノ増設ハ全部削除シタイトノ修正案ト、竝ニ二次ノ希望條項ヲ付スルコトノ御申出ガアリマシタ

希望條項

- 一、速步競走、障礙物競走ヲ爲スニ適當ナル様現在ノ競馬場ノ設備ヲ改善スルコト
- 二、一日數回ノ速步競走、障礙物競走ヲ爲サシムルコト
- 三、地方競馬ノ取締並善導ニ注意シテ馬匹改良ノ實ヲ舉グルコトニ努ムルコト

右ノ修正案竝ニ希望條項ハ大多數ヲ以テ議決イタシマシタ、更ニ一委員カラ、此修正案通りニシマス時ニハ、收入豫算ニ於テ四十五萬圓ノ不足ヲ生ズルカラ、政府納金ノ百分ノ三ヲ百分ノ四ニ改メテ、此不足額ノ一部ニ充當セシメタイトノ修正案ヲ提出セラレマシタ、政府モ之ニ同意セラレマシテ、是レ亦全會一致ヲ以テ議決イタシマシタ、即チ委員會ハ以上ノ通り、二項ノ修正案

ニ希望條項ヲ附シテ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス
○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告願ニ依リマシテ、質疑ノ發言ヲ許シマス

○子爵西尾忠方君 本員ハ内務大臣ニ質問ヲ申上ゲタイト存ジマシタガ、只今オ出デニナリマセヌカラ、他日質問ヲ致ス機會ヲ御與ヘ願ヒタイト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 他日ト仰セラレマスガ、本案ノ議決ガ濟ミマシテカテデモ宜シウゴザイマスカ、他日ト申シマスノハ何時ノコトヲ申シマスカ
○子爵西尾忠方君 他ノ機會……他ノ機會ニト云フ意味デ申シマシタノデ、他日ト云フコトハ取消シマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ西尾子爵ハ、通告ヲ撤回セラレル御考デゴザイマスカ
○子爵西尾忠方君 此場合已ムラ得マセヌカラシテ、撤回イタシマス

○湯淺倉平君 極メテ簡單デゴザイマスルカラ、此席カラ發言ヲ御許シテ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 極メテ簡單ニ願ヒマス
○湯淺倉平君 只今上程ニナリマシタ競馬法中ノ改正法律案ガ、委員長ノ御報告ニナリマシタ通りニ、多分本院ノ決議ヲ見ルコトダラウト存ジマスルガ、

之ニ對シテ農林大臣ハ此委員會ノ修正ニ對シテ、全然御同意デアリマスカ、又ハ飽迄モ原案ヲ主張セントセラル、ノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイト存ジマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 湯淺君ヨリノ御尋デアリマスルガ、競馬場ノ五箇所ノ増設ト云フコトハ、主トシテ産業及國防ノ要求ニ係ル馬種ヲ、是カラ大ニ獎勵ヲ致シタイト云フ見地カラ、主トシテ出發イタシタノデアリマスルガ、ソレヲ場所ヲ増設セズシテ、現在ノ十一箇所ノ公設競馬竝ニ地方競馬ノミノ力ニ依ッテ、此目的ヲ達シ得ルカ否ヤト云フ點ニ付キマシテハ、委員ノ諸君ト政府ト意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、隨テ此五箇所ノ場所ヲ削除スル、全部削除ト云フコトニナリマシタ曉ニ、之ニ依ッテ國防及産業ノ要求ニ應ズル所ノ馬種ヲ、速ニ完全ニ養成助長スルコトガ出來ルカドウカト云フニ付キマシテハ、政府ハ非常ニ是ハ至難ノ事ナリト考ヘテ居リマス、故ニ此點ニ

付キマシテハ遺憾ナガラ政府ハ直ニ同意イタシ兼ヘル次第デアリマス、而シテ百分ノ三ト云フ……百分ノ三以内ト云フ政府ノ納付金ヲ、百分ノ四ニ引上ゲル、此修正ニ付キマシテハ政府ハ之ニ同意イタシタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○湯淺倉平君 此法案ガ委員長ノ報告セラレタ修正案通りニ決定ヲ見マシレバ、是ハ衆議院ニ回付サレルコト、存ジマス、其際ニ政府ハ何處迄モ原案ヲ御主張ナサル、貴族院ノ院議ハ産業及國防ヲ顧ミザルモノナリト云フ態度デ、飽クマデ原案ヲ御主張ニナルト云フコトデアリマスレバ、其結果或ハ不幸ニシテ兩院ノ協議ガ成立ヲ見ナイ、即チ本案ノ否決ト同ジ結果ヲ見ル場合ガ起リ得ベシト想像モセラル、ノデアリマスガ、政府ハ何處迄モ矢張り只今ノ主張ヲ固持ナサル御積リデアリマスカ、重ネテ其點ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 衆議院へ本修正案ガ回付サレマシタ場合ニ、衆議院ガ之ニ對シテ如何ナル態度ヲ執リマスルカ、其曉ニ於キマシテ政府ハ最後ノ肚ヲ決メタイ積リデアリマス

○湯淺倉平君 政府與黨ガ衆議院ニ於テハ多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、而シテ政府ハ何處迄モ原案ヲ固執ナサルト云フコトデアリマスレバ、政府與黨ハ原案ヲ固執スルモノト見ナケレバナラス、左様ナ推測ヲ下シマスルノハ強チ不當ナコトデハナイト考ヘルノデアリマス、衆議院ニ於テハ政府與黨ハ多數ヲ擁シ、ソレガ故ニ多數ノ力ニ依ッテ、アラユル法案ノ通過ヲ試ミムトシテ居ルト云フ政情ノ下ニアルノデスカラ、政府ガ飽ク迄モ原案ヲ通サウトナサルト云フコトデアリマスラバ、衆議院ハ院議ヲ固執スルコトニ相成ルデアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ左様ナ場合ニ貴族院ノ院議、衆議院ノ院議ト相反スルコトガアリ得ベシト豫想シテ御尋ヲ致シテ居ルノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ、兩院ノ協議ニ付シテモ仕方ガナイ、斯クマデニ御考ニナッテ居ルノデアリマスルカ、愈、兩院ノ協議ヲ經ルト言フ場合ニナッテ、今日ノ主張ヲ御棄テニナルコトガアルカモ知レナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマスカ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 重ネテ申シマスルガ、此修正案ガ衆議院へ回付サレマシタ場合ニ、衆議院ハ之ニ對シテ如何ナル意見ヲ有ツカト云フコトハ、

固ヨリ私カラ申上ゲル次第デハアリマセヌ、與黨云々ノ御話ガアリマスルケレドモ、最初之ヲ提案シタ時ト今日貴族院ニ於テ之ヲ修正サレタル場合トハ、自ラ又衆議院ニ於テモ考ヘ方ガ違フノカモ知レマセヌ、ソレ等ノコトハ私ハ如何ナルコトノ成行ニナリマスルカ存ジマセヌガ、兎ニ角今ドウシタ場合ニハドウト云フコトノ假定的ノ御答ヲ申上ゲルコトダケハ御遠慮イタシタイト思ッテ居リマス

○湯淺倉平君 私御尋ヲ致シテ居ルノハ衆議院ノ態度ガ如何様ニナルカト云フコトヲ政府ニ御尋ヲ致シテ居ルノデハナイノデアリマス、政府ノ御意見ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、デ私ハ伺ハムトシテ居リマスノハ、只今ノ政府ノ御考デハ何處マデモ原案ノ方ガ宜シイノダ、貴族院ノ委員會ノ決定ノ方ガ誤ッテ居ル、産業及國防ノ上ニ深キ考慮ヲ拂ハナイ委員會ノ決議デアアル、斯様ニ仰セラレルノデアリマスルカ、何處マデモ原案ヲ御主張ナサルト云フコトガ只今ノ御考デアアル、併ナガラ衆議院ニ回付サレタ曉ニハ、或ハ只今ノ農林大臣ノ御考ハ變更サレルカモ知レナイ、斯様ニ御答辯デ承リマシタ、私ハ左様ニ了解イタシマシテ、此ノ質問ヲ打切りマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 私ガ御答ヲ申シタ點ヲ誤解ノナイヤウニシテ戴キタイト思フノデス、衆議院ニ是ガ回付サレタ場合ニ、政府ガ之ニ對シテ如何ナル態度ヲ執ルカト云フガ如キコトハ、今カラシテ假定的ノ事實ヲ基調ト致シテ御答ヲ申上ゲ兼ネルト斯様ニ申シタ次第デアリマス、即チ政府ガ之ニ同意ヲスルカセスカト云フヤウナコトナドノコトヲ今カラ申上ゲル譯ニハ行カナイ、具體的ニ申シマスレバ左様ナ意味デアリマスカラ御承知ヲ願ヒマス

○湯淺倉平君 私ハ農林大臣ノ御答辯ハ甚ダ意外ニ思フノデス、私御尋ヲシテ居ルノハ、此修正案ニ御同意ニナルカ否カト云フコトヲ御尋シテ居ル、ソレニハ反對デアルト仰セニナル、私ハ其コトマデハ了解シテ居ル譯デ、衆議院ニ回付サレタ後ニハ假定的ノ問題デアルカラ、ドウ云フ態度ヲ執ルカ分カラナイ、斯ウ仰セラレルノデアリマスカラ……然ラバ只今ノ原案ヲ何處マデモ固執スルト云フ態度ハ繼續ナサルノカ、御止メニナルノカモ分カラナイ、變更サレルコトアリ得ベシト私ハ了解イタシマス、ソレヲ申シテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテハ只今ノ御説明ハ何等ノ用ヲ爲サヌカラ私ノ了解シタ通

リノ御答デアルト私ハ解シマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 御解釋ハ御解釋……ソレハ御勝手に申上ゲテハ甚ダ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ銘々ノ解釋デゴザイマス、私ノ申上ゲタコトハ繰返ス必要ハゴザイマセヌ、申上ゲタ通り、即チ此場合ニナリマシテ、之ヲ支持シマスルカ、又ドウ致シマスルカ、是ハ衆議院ノ自ラ又形勢モアリマスルモノデスカラ、今カラシテ政府ガドウ云フ態度、又衆議院ガドウ云フ態度ヲ執ルカト云フコトヲ私ハ申上ゲ兼ネマス云フコトヲ最後ニ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 湯淺君ハモウ御質疑ハゴザイマセヌカ

○湯淺倉平君 能ク分リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ討論ニ移リマス、通告ニ依リマシテ土方君ニ發言ヲ許シマス、土方君ノ登壇ヲ望ミマス

〔土方寧君演壇ニ登ル〕

○土方寧君 私ハ現行競馬法、馬券發賣ヲ許可スル所ノ競馬法ガ先年議題ニ上ボリマシタ時ニ、民心ニ惡影響ヲ及ボスモノデアルト考ヘテ、反對ノ意見ヲ述ベテ置キマシタ、同ジ意見ヲ今日デハ有ッテ居リマス、ナラウコトナラ現行競馬法中馬券發賣ト云フコトダケハ廢止スルコトニナッタラ宜カラウト思ヒマスガ、今日ノ問題デアリマセヌカラ、ソレハ論ズルコトハ出來マセヌ、今度ノ此法案ハ現行競馬法中ノ競馬ヲ施行スル場所ヲ増設スルト云フコト、ソレカラ各競馬場ニ於ケル施行ノ……開催日數ヲ増スト云フコト、ソレカラ馬券ノ賣代金ノ内カラ幾分ト云フモノヲ政府ヘ納入セシムルコト、此三ツノ點ニアルヤウデアリマスガ、元々此馬券付ノ競馬ト云フコトハ不可ナル考ヘデアリマスカラ、左様ナ場所ヲ増スコトハ益、害ヲ多クスルコトデアリマスカラ反對デ、期日ヲ長クスルコトモ反對デアリマス、ソレカラ馬券賣代金ノ内カラ幾分政府ヘ納入セシムルト云フコトハ實ニ情ナイコトト思ヒマス、如何ニ我國財政ガ逼迫シテ居ッテ財源ニ乏シイト云ッテモ、謂ハバ賭場ノ寺錢ノ上前ヲ勿ルヤウナ有様デアリマス、ソナコトマデ爲サラヌデモ、私ノ考ヘデハ外ニモウ少シ適當ノ方法デ歳入ヲ得ル途ハアルマイカト思ヒマス、斯ウ云フヤウナコトハ根本カラ私ハ人心ニ惡影響ヲ及ボスモノデアルト考ヘテ居リマス、左様ナコトヲ爲サルヨリハ、此議會ニ於テモ最初總理大臣カラ政府

ノ御方針ノ御演說中ニ、民心ヲ改善スルトカ、國民ノ精神作興ニ資スルト云フ御話ガアリマシタ、是ハ皆異口同音ニ希望スルコトデアリマスガ、ドウモ現内閣ノ爲サレルコトヲ見マスルト、往々此民心ヲ改善スルトカ云フコトニ相反スルヤウナコトガ多クアルヤウニ思ヒマス、是等モ其内ノ一ツデアリマス、學校ナドニ於テモ近頃危險思想ガ存外普及シテ居ル、ソレデ其取締ノ爲ニ高等學校以上ノ學校ニハ生徒監ト云フモノヲ置キマシテ、ソレハソレニハ相當ノ金ガ要リマス、色々金ノ要ルコトデアリマスガ、ソナコトマデシテモ、一方ニハ又惡影響ヲ及ボスヤウナコトヲ爲スッテハ何ニモナラヌ、馬匹改良ハ必要デアリマセウ、ソレナラ外ニ方法ガアル、競馬ヲシマシテカラ一著、二著、三著ト馬ニ賞金ヲヤレバ宜イカモ知レマセヌ、ソレガ入場料ダケデ足リナケレバ補助シテヤルモ宜イカ知レマセヌ、馬匹ノ改良ガ必要ナラサウ云フ方法ガアル、賭博ニ類シタル寺錢ノ上前ヲハネルナント云フコトハ、情ナイ話デアリマス、根本カラ反對デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 贊成

○男爵阪谷芳郎君 此案ニ付キマシテハ熟慮シタイト云フコトガ、私等ノ會派ノ中カラ、本員ニ希望ガアリマシタノデ、是ハ法律ノ規定ニ依ッテ二讀會ニ讀會ヲ御開キニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 只今阪谷男爵ノ御述ベニナリマシタノハ規則通りデゴザイマスカラ別段贊成者ハ要シマセヌ、只今西大路子爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クベシトスル動議ガ出マシタカラ其採決ヲイタシマス、西大路子爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クベシトスル動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者……〕

○議長(公爵徳川家達君) 不明デゴザイマスカラ暫時御著席ヲ請ヒマス、反對即チ直ニ第二讀會ヲ開クベカラズトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立……〕

○議長(公爵徳川家達君) 不明デゴザイマスカラ記名投票ヲイタシマス、念ノタメ申上ゲマス、西大路子爵ノ動議ヲ可トセラル、諸君ハ白色票、否トセラル、諸君ハ青色票ヲ御投票ヲ願ヒマス、本日モ諸君ノ氏名ハ點呼イタシマセヌ、順次ニ御投票ヲ願ヒマス、時間ヲ省略スル爲ニ速ニ御投票ヲ願ヒマス

〔投票執行〕

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベク速ニ御投票ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數百九十九、可トスル者、即チ白票ヲ投シタル者百五、否トスル者、即チ青票ヲ投シタル者九十四、故ニ直ニ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

〔參照〕

賛成者氏名(百〇五名)

公爵 鷹司 信輔君 公爵 一條 實孝君 侯爵 蜂須賀 正韶君
 侯爵 四條 隆愛君 侯爵 鍋島 直映君 伯爵 松本 宗隆君
 伯爵 川村 鐵太郎君 伯爵 奥平 昌恭君 公爵 林 博太郎君
 伯爵 松平 頼壽君 伯爵 樺山 愛輔君 伯爵 酒井 忠克君
 伯爵 黒木 三次君 伯爵 酒井 忠正君 男爵 木越 安綱君
 男爵 大井 成元君 子爵 稻垣 太祥君 子爵 高倉 永則君
 子爵 藤谷 爲寛君 子爵 樋口 誠康君 子爵 毛利 高範君
 子爵 大久保 立君 子爵 冷泉 爲勇君 子爵 伊集院 兼知君
 子爵 五辻 治仲君 子爵 西大路 吉光君 子爵 柳生 俊久君
 子爵 吉田 清風君 子爵 本多 忠鋒君 子爵 豊岡 圭資君
 子爵 藪 篤 麿君 子爵 白川 資長君 子爵 池田 政時君
 子爵 清岡 長言君 子爵 立花 種忠君 子爵 伊東 二郎九君
 子爵 新庄 直知君 子爵 曾我 祐邦君 子爵 森 俊成君
 子爵 井伊 直方君 子爵 牧野 一成君 子爵 戸澤 正己君
 子爵 渡邊 七郎君 子爵 秋元 春朝君 子爵 西尾 忠方君
 子爵 裏松 友光君 子爵 岩城 隆徳君 子爵 大浦 兼一君
 子爵 鍋島 直繩君 子爵 米倉 昌達君 子爵 土岐 章君
 子爵 瀧脇 宏光君 男爵 松井 慶四郎君 和田 彦次郎君
 小松 謙次郎君 内田 嘉吉君 男爵 鍋島 直明君

反對者氏名(九十四名)

男爵 小原 駱吉君 内田 重成君 小野塚 喜平次君
 坂西 利八郎君 男爵 黒川 幹太郎君 三井 清一郎君
 男爵 上田 兵吉君 男爵 福原 俊九君 男爵 有地 藤三郎君
 男爵 赤松 範一君 男爵 寺島 敏三君 高橋 琢也君
 橋本 圭三郎君 山之内 一次君 井上 準之助君
 山岡 萬之助君 志村 源太郎君 室田 義文君
 赤池 濃君 湯池 幸平君 服部 金太郎君
 藤山 雷太君 内藤 久寛君 今井 五介君
 伊澤 平左衛門君 林 平四郎君 下出 民義君
 坂田 貞君 上郎 清助君 奥田 榮之進君
 田村 駒治郎君 西本 健次郎君 高橋 源次郎君
 藤原 銀次郎君 瀬谷 勇次郎君 北村 宗四郎君
 根本 祐太郎君 鶴澤 總明君 藤田 謙一君
 佐藤 信古君 五十嵐 甚藏君 若尾 璋八君
 山田 惠一君 小林 暢君 大谷 尊由君
 鳴海 周次郎君 本間 千代吉君 八馬 兼介君
 侯爵 細川 護立君 伯爵 柳原 義光君 子爵 大河内 正敏君
 子爵 大河内 輝耕君 子爵 保科 正昭君 子爵 渡邊 千冬君
 子爵 東園 基光君 子爵 三宅 戶敬光君 田中 館愛橘君
 眞野 文二君 佐藤 三吉君 木場 貞長君
 渡邊 暢君 男爵 坂本 俊篤君 土方 寧君
 男爵 幣原 喜重郎君 男爵 阪谷 芳郎君 江木 翼君
 河村 讓三郎君 男爵 紀 俊秀君 男爵 南部 光臣君
 男爵 斯波 忠三郎君 男爵 千秋 季隆君 男爵 北河原 公平君
 男爵 北大路 實信君 伊澤 多喜男君 山川 端夫君
 男爵 長松 篤葉君 男爵 神山 那昭君 二上 兵治君
 男爵 今枝 直規君 男爵 黒田 長和君 男爵 岩倉 道俱君
 男爵 藤村 義朗君 男爵 上村 從義君 男爵 金子 有道君
 男爵 小畑 大太郎君 男爵 野田 龜喜君 男爵 藤堂 高成君
 男爵 東郷 安君 男爵 辻 太郎君 男爵 足立 豊君

男爵松岡均平君	男爵周布兼道君	男爵高崎弓彦君
男爵井上清純君	男爵北島貴孝君	男爵松尾義夫君
男爵高木喜寛君	男爵伊江朝助君	男爵關義壽君
男爵三須精一君	男爵近藤滋彌君	男爵佐藤達次郎君
男爵大寺純藏君	男爵深尾隆太郎君	石井省一郎君
原保太郎君	藤田四郎君	阪本鈺之助君
福永吉之助君	中村純九郎君	鍋島桂次郎君
松本丞治君	湯淺倉平君	安樂兼道君
永田秀次郎君	青木周三君	佐竹三吾君
樺山資英君	松村義一君	馬越恭平君
大橋新太郎君	末延道成君	渡邊千代三郎君
尾崎元次郎君	津久居彦七君	澤山精八郎君
關直彦君	齋藤喜十郎君	磯貝浩君
齋藤善八君	橋本萬右衛門君	平田吉胤君
金子元三郎君	森廣三郎君	吉田羊治郎君
八木春樹君	大城兼義君	津村重舍君
奥田龜造君	長尾元太郎君	小林嘉平治君
高廣次平君		

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、開墾助成法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、伊集院子爵

開墾助成法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月七日

右特別委員長

子爵 伊集院兼知

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 御名ヲ呼ビマシタ
〔子爵伊集院兼知君演壇ニ登ル〕

○子爵伊集院兼知君 只今議題トナッテ居リマスル開墾助成法中改正案ノ委員會ノ模様ヲ申上ゲマス、此案ハ審議ノ結果全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決相成リマシタ、本案ノ趣旨トスル所ハ、是マデノ法律デハ開墾者ニ對シ開墾ニ使用シタル金額ニ付テ毎年六分ノ利子ヲ補給シテ居タノヲ改メテ、今後ハ年々使用サレタル開墾費ノ四割ヲ渡シテヤルト云フコトニナルノデアリマス、例ヘバ開墾ニ使ヒマシタ所ノ金ガ一万圓ト致シマスレバ、現行法デハ年六分、即チ六百圓ヲ渡シテヤルト云フコトニ對シマシテ、改正案デハ四割、即チ四千圓ヲ渡シテヤルト云フコトニナルノデアリマス、斯ク致シマスト開墾者ノ手許ニ早ク多額ノ金ガ這入ルヤウニナリマスカラ、仕事ヲスル上ニ非常ニ都合ガ宜クナルノデアリマス、以前ノ法律デハ利子ヲ貰フノデアリマスカラ、長ク年限ヲ費シテ開墾イタシタ方ガ得ニナルノデアリマスガ、改正案ノ方デハ仕事ヲ早ク仕上ゲル方ガ却ッテ多クノ利益ヲ受クル結果ニナルノデアリマス、而シテ斯ノ如ク金ノ渡シ方ヲ變更イタシマシテモ、國庫ガ負擔スル助成金ノ額ニハ少シノ變化モナイノデアリマス、政府委員トノ質問應答ヲ終リマシタル所、或委員ヨリ本案ニ對シ賛成意見ヲ申サレマシタ、而シテ委員會ハ前述ノ如ク全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、是デ報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開ク事ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵藪篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレム事ヲ希望イタシマス

○子爵藪篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案、第四、大正十三年法律第十號中改正法律案、第五、學校及圖書館特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月五日

右特別委員長

公爵 應 司 信 輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十三年法律第十號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月五日

右特別委員長

公爵 應 司 信 輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

學校及圖書館特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月五日

右特別委員長

公爵 應 司 信 輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 應司公爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔「公爵應司信輔君演壇ニ登ル」〕

○公爵應司信輔君 神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案、大正十三年法律第十號中改正法律案、學校及圖書館特別會計法中改正法律案、此三件ノ委員會ニ付キマシテ經過及結果ヲ御報告申シマス、本委員會ハ三月四日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、同ジク五日ニ會議ヲ開キマシテ、先ヅ政府ノ説明ヲ求メマシテ、其後二三ノ質問ガゴザイマシタ結果、右三案ハ原案通り可決イタスベキモノト議決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今委員長ノ報告セラレマシタ三案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵藪篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 總テ第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、大正十一年法律第五十二號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正十一年法律第五十二號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月七日

右特別委員長

子爵 伊集院兼知

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵伊集院兼知君演壇ニ登ル〕

○子爵伊集院兼知君 只今議題ト相成リマシタル大正十一年法律第五十二號中改正法律案ノ委員會ノ模様ヲ御報告申上ゲマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ノ説明ヲ求メ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ所、本案ハ誠ニ簡單明瞭ナ

案デアルト認メ、全會一致ヲ以テ可決相成リマシタ、本案ノ趣旨トスル所ハ大正十一年度ニ制定相成リマシタ統計資料實地調査ニ關スル法律ノ第一條ニ

改正ヲ加ヘルコトニナルノデアリマス、即チ其法文ニアル「政府ハ勞働ニ關

スル統計資料」云々トアル其中ノ「政府ハ」ノ下ニ「農業及」ト云フ三字ヲ

加ヘル、即チ農業ニ關スルコトモ調査スルコトニ致シ、又本條ノ末文ニアル

「又ハ一定ノ區域ヲ割シテ」トアル下ニ「本法ニ依ル」ト云フ五字ヲ竝ニ末尾ノ

「行フ」トアル下ニ「コトヲ得」トノ四字ヲ加ヘヤウトスルノデアリマス、是迄

モ農業ニ關スル種々ノ調査ハ農林省ニ於テ毎年致シテ統計モ出來テ居ルノデ

アリマスガ、未ダ不十分ナ所ガアリマス、今回此ノ改正案ヲ出シマシテ行ヒ

マス統計調査ハ、其方法ガ是迄ノモノトハ全ク異ツテ居リマス、即チ「センサ

ス」式方法ヲ以テ本年ノ九月一日ニ耕地ニ付テ全國ニ互ツテ調査ヲ施行イタス

ノデアリマス、右ノ如ク此改正ハ誠ニ簡單ナ案デアリマス、前ニ述ベマシタ

通り審議ノ結果可決ト相成リマシタ、本案ニハ直接ノ關係事項デハアリマセ

ヌガ、委員ノ一人ガ熱心ニ申サル、ニハ、昭和五年度以降ニ於テ調査ヲ行ハ

ル、時、其期日ノ制定ニ付テハ、慎重ニ考慮シテ貫ヒタイト云フコトデアリ

マシタ、之ヲ附加ヘテ報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス、原案ニ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、國寶保存法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

國寶保存法案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十一日

右特別委員長

侯爵 細川 護 立

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミナ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修正文ナリ)

第十三條 神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ差押フコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケ處分シ又ハ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラズ

主務大臣前項ノ規定ニ依ル許可ヲ爲サントスルトキハ國寶保存會ニ諮問スベシ

主務大臣ノ許可ヲ受ケズシテ神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分シ又ハ擔保ニ供シタルトキハ之ヲ無効トス

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 國寶保存法案ノ委員會ノ經過並結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ノ趣旨ハ既ニ御承知ノコトト存ジマス、委員會ニ於キマシテモ更ニ敷衍シテ説明ガアリマシテ、即チ從來ノ特別保護建造物ト國寶ト分レテ居リマシタノヲ、之ヲ廢シテ兩者ヲ一トシテ、共ニ之ヲ國寶トスルコト、從

來ハ此國寶ナルモノハ社寺ノ所有ニ係ッテ居リマシタノヲ、此度個人、公共團體又ハ國有ノ建物、寶物ニモ及ボス、即チ範圍ノ擴張デアリマス、第三ハ是等ノモノノ輸出及移出ヲ禁止スルコト、更ニ之ニ伴フ費用ノ増額ガ主ナルモノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ種々質問ガアリマシタ、今之ヲ一々御紹介申上ゲマセヌガ、其中デ此國寶ノ建物ノ保存ノ方法、又第一條ニアリマスル「歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範」是等ノ字義ニ付テ可ナリ詳シイ御質問ガアリマシタ、又經濟的ニ頗ル困難シテ居ル社寺ノ國寶ノ處分等ニ付キマシテモ種々ノ御質問ガアリマシタ、之ニ付キマシテ政府委員並斯道ノ古社寺保存會員ノ詳細ナル説明ヲ承ッタノデアリマス、質問終了後、別ニ賛否ノ討論ハアリマセヌデシタ、只採決ニ際シマシテ一員ヨリ修正ノ動議ガ提出サレタノデアリマシタ、其修正ノ動議ハ既ニ御手許ニ廻ハッテ居ルト存ジマスガ、茲ニ朗讀イタシマス、即チ第十三條ノ後ニ附加ハルモノデアリマス、第十三條ノ「神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ差押フルコトヲ得ズ」、此後ニ「但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケ處分シ又ハ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラズ」、第二項ニ「主務大臣前項ノ規定ニ依ル許可ヲ爲サントスルトキハ國寶保存會ニ諮問スベシ」第三項ニ「主務大臣ノ許可ヲ受ケズシテ神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分シ又ハ擔保ニ供シタルトキハ之ヲ無効トス」斯ウ云フ修正ノ動議デアリマス、此趣旨ハ第十三條ノ儘デアリマスレバ神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ絕對ニ處分スルコトハ出來ナイト云フ規定デアリマス、斯ノ如ク致シマスレバ既ニ個人ノ所有ノ處分ヲ許シテ居ル以上ハ、非常ナル必要ノアリマスル場合ニ、神社及寺院ガ是等ノ處分ヲスルト云フコトガ絕對ニ不可能デアリマシテハ、却ッテ其間ニ種々ノ困難ガ生ジヤシナイカ、即チ個人ノ如ク或特別ナ場合ニハ之ヲ許シタ方ガ宜シイデハナイカト云フ御趣意デアリマス、併ナガラ左様ナコトハ最モ慎重ニ取扱フベキコトデアリマスルガ故ニ、主務大臣ノ許可ヲ必要トシ、更ニ主務大臣ハ之ヲ國寶保存會ニ諮問スル、斯様ナ慎重ナ形式ヲ採ラレタノデアリマス、最後ニ一員ヨリ希望ガ出タノデアリマス、此希望ハ委員長ニ於キマシテ、直チニ之ヲ委員會ニ諮リ、全員ノ同意ヲ得マシテ、茲ニ御報告スル次第デアリマス

一、國寶ノ嚴選精確ヲ期スル爲メ政府ハ國寶保存會委員ノ選任ニ關シテハ其銓衡ヲ慎重ニシ以テ眞ニ權威アル博識精通ノ士ヲ網羅セラレムコトヲ

望ム

一、國寶ノ海外流出ヲ嚴重ニ防止スル爲メ政府ハ徹底的ニ遺憾ナキ方法ヲ規定セラレシコトヲ望ム

一、國寶中優秀貴重ナル建造物ノ現状ニ顧ミ政府ハ速ニ修理保存ヲ期スル爲メ之ニ必要ナル費額ヲ計上シ繼續費トシテ次ノ帝國議會ニ提案セラレシコトヲ望ム

一、國寶ノ完全ナル保存ヲ期スル爲メ政府ハ國寶所有者ニ對シテ常ニ適切ナル監督ヲ怠ルコトナク又第七條ノ場合ニ於ケル出陳個所ノ設備及管理ニ對シテ遺憾ナキ措置ヲ執ラレシコトヲ望ム

斯様ナ希望デアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ全員一致デ可決イタシマシタ、他ノ條項モ何等異議ナク可決イタサレタノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告ニ依リマシテ阪本鈺之助君ニ發言ヲ許シマス
○阪本鈺之助君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ述ベルコトヲ御許シテ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鈺之助君 此國寶ト申スコトニ付キマシテ、豫算第三分科會ニ於キマシテ多少ノ意見ガゴザリマシタガ、是ハ極ク、豫算殊ニ分科會ノコトデゴザイマスカラ、全會議ニ對シテ大シテ權威ノ有ル程ノ意見トモ申シ兼ヘルノデアリマスガ、此場合一應政府ノ御考及ビ特別委員長ノ修正ニナリマシタ意味合ニ付テ御尋ラシテ見タイト思フノデアリマス、從來國寶ト申シマス中ニ

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

マサカニ神社ノ御神體ヲ國寶トシタト云フコトハマダ聞カスヤウニゴザイマスガ、佛寺ノ……寺ノ本尊トカ或ハ御前立ト云フヤウナモノハ、往々國寶ニナツテ居ルノデアリマス、奈良邊ニ參リマス、佛殿ノ中ニアリマスル佛像ノ運慶ノ作トカ何トカ云フモノニナリマス、大抵國寶ニナツテ居ルノデアリマス、國寶ト佛像、即チ信者ノ崇拜スル大切ナモノト云フモノト、國寶ト云フ意味ヲ以テ尊バレルト云フコトガ、混淆シテ居ル譯ニ今日ハナツテ居ルノデアリマス、昔デゴザイマスレバ、善光寺ノ佛像ヲ拜メバ罰ガ當ル位ニ思ツテ居ッタノデス、今デモ信者ノ目カラ見マスレバ八寸五分ノ佛像ヲ扉ヲ排シテ拜シマスレバ、非常ニ體ガ固クナルト考ヘテ居ルノガ、元來カラ申シマスレバ國寶デアリマスカラ、東京カラ立派ナ官吏デモ行カレテ、我々ノ如キ者デモ

奈良アタリニ行キマシテモ、佛寺ヘ行ツテ見セテ貫ヘバ、坊サンガ案内ニ出テ鼻ヲ撫デ脊中ヲ撫デテ、是ハ運慶ノ作デゴザイマス、何デゴザルト云フヤウナコトヲ言フノハ不思議デナイヤウニナツテ居ル次第デアリマス、誠ニ佛教ノ尊信ト云フコトト國寶保存ノ大切ダト云フコトガ混淆イタシテ居リマシテ、

歎カハシイコトデアルト云フヤウナコトヲ、第三分科會ノ或一委員ガ述ベラレマシテ、私モ至極御同感ニ存ジマシタ、政府委員モ至極御尤デアルト云フヤウナコトガゴザイマシタ、此度國寶保存法ト云フヤウナモノガ更ニ出マシテ、更ニ進ンデ御世話ニナル譯デアリマスガ、是ガ徹底イタシマスルト、益、

此國寶ト云フコトト宗教ノ信仰ト云フコトト混淆シテ、ドウシテモ國寶ト云フコトニ趣味ヲ持チマスルト尊信ト云フモノガ薄クナル嫌ヒガアル、サウデナクテモ寺ナント云フモノハ威信ヲ失ツテ來ル傾キガアルノニ、更ニ此國寶ノ關係ナドニ於テ寺ノ威信ナドト云フモノガ地ニ墜チル嫌ヒガアルダラウト云

フコトハ、何人モ感ズル所デアラウト思フノデアリマス、ソコデ此度特別委員ガ御修正ニナリマシテ、更ニ擔保ニ入レルトカ、賣渡ストカト云フコトモ、主務大臣ノ許可ヲ得マスレバ出來ルト云フコトニナルノデ、原案デハマサカニ國寶ノ處分、擔保、差押ト云フコトガ絕對ニ出來ナイト云フコトニナツテ居

リマシタガ、特別委員會ハソレニ多少ノ裕リヲ付ケラレタノデアリマス、是亦御尤ノコトトハ存ジマスルガ、只今申シタヤウナ立場カラ考ヘマス、ドウヤラシテ本尊デモ賣リ飛バサレル、非常ナ借金ヲシテ居レバ、佛像ヲ差押ヘラレルト云フヤウナコトハ、爲シ得ルダラウト思ヒマスガ、併シ是ハ國寶保

存會ノ審議ヲ受ケルノデアリマスカラ、マサカニ差押ヘルト云フヤウナコトハ許シハ致シマスマイガ、併シ法律ノ正面カラ行キマシテ寺ガ非常ニ借金ヲ持ツテ居ツテ、債權者ノ側カラ申シマスレバ法律デ既ニ許可ヲ得レバ差押ヘテモ宜イトアル以上ハ差押ヘルト云フコトハ免レヌダラウト思フ、故ニ政府ハ

既ニ國寶トナツタモノヲ先刻申述ベタ特別委員……デヤナイ、分科會ニ於ケル言論ノ如キコトハ何トカ將來能ク御考ハナイモノデアアルカト云フコトヲ、更ニ本會議ニ於テ一應ノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス、又特別委員會

ガ處分差押等ヲ主務大臣ノ許可ヲ受ケレバ爲シ得ルト修正イタシタコトハ御同意デアアルカドウカ、御同意デアレバ或場合ニハ只今申シタ善光寺ノ閣浮提

金ノ佛像ヲモ差押ヘル場合ガナイトモ言ハレヌコトヲ豫想セネバナラヌガ、

誠ニ佛教崇拜ノ上ニ於テ歎カハシイコトデアルト考ヘルノデアリマスガ、此

法律ガ新ニ出來マシテ益、的確ニナル以上ハ、此邊ハ餘程研究シテ置カンナラヌコトト考ヘマスルカラ、政府及特別委員長モ之ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ併セテ承リタイト思フノデアリマス

〔政府委員山崎達之輔君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山崎達之輔君) 只今阪本サンノ御質問デアリマスルガ、豫算分科會ニ於キマシテ私ヨリ申上ゲマシタ通り信仰的ノ尊信ノ念ヲ國寶タルガ故ニ傷ケルヤウナコトノアリマセヌヤウニ、取扱上ニ付キマシテハ、政府トシテ今後十分ノ注意ヲ致ス考デアリマス、更ニ特別委員長御報告ノ第十三條ノ修正ニ付キマシテハ、御當院ニ於テ左様ニ御決定ニナリマスルシ、又衆議院ニ於テ之ヲ認メラレマスレバ、政府ト致シマシテハ敢テ原案ヲ固執スル考ハ有ツテ居リマセヌ、其點ガ阪本君ノ只今御述べニナリマシタ點ニ觸レテ參ルノデアリマスルガ、特別委員會ニ於テ御修正ニナリマシタ御趣旨ハ私政府委員トシテ拜聽イタシテ居リマシタガ、神社又ハ寺院ノ所有ニ係ル國寶ノ中デ敢テ信仰ト關係ノナイ部分ノモノモ場合ニ依ツテハアルヂヤナイカ、左様ナモノハ其神社又ハ寺院ノ維持經營ノ爲ニ已ムヲ得ザル事情ノアル場合ニハ慎重ナ手續ヲ執ツテ處分シ得ルダケノ餘地ハ存スルガ宜シクナイカ、斯様ナ御趣旨デアッタヤウニ拜聽ヲ致シテ居リマスルノデ、阪本君ノ御心配ニ相成リマスルガ如キ場合ニ於キマシテハ、是ガ處分ヲ許スト云フヤウナコトガ、假ニ左様ニ御決定ニナリマシテモ、政府トシテハ左様ナ取扱ハ致サヌ考ヘデ居ルノデアリマス、是ダケ御答ヲ申上ゲテ置キマス

○阪本鈺之助 大要承知ヲ致シマシタガ、之ヲ實施スルニ當リマシテ政府ハ只今ノ御陳述ノ如キ意味ニ基キマシテ何カ更ニ施行令ノヤウナモノデモ相當ナ命令ヲ御出シニナリマシテ、今ノ尊信ヲ受クベキ佛像ノ類ト古畫或ハ彫刻物ノ如キ處分サレテモ宜シイ方ノ側ト、何カ區別ヲ立テタルト云フ……速記ガ御分リニナラヌヤウダカラ……サウ云フ區別ヲ立ツル命令デモ御出シニナルト云フ御考ガゴザイマセウカ、又特別委員ガ修正サレタノハ昨今ノコトデアリマスカラ、サウ御考ガ熟シテ居ラヌカモ知レマセヌガ、私共ノ希フ所ハ何カ命令デモ御出シニナツテ、シツカリ一ツ區分ヲシテ始末ヲ付ケルト云フヤウナコトガアリタイノデアリマスカラ、政府トシテハ如何ナモノデアリマセウカ伺ヒタイ

〔政府委員山崎達之輔君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山崎達之輔君) マダ具體的ノ方法ヲ考ヘテ居リマセヌデアリマシタガ、御趣旨ニ基キマシテ十分慎重ニ考慮ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマセヌ

○阪本鈺之助君 私ノ質疑ハ是デ終リマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ハ委員長ノ報告通りデ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存アルマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第八、家畜保險法案、第九、家畜再保險特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

家畜保險法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月九日

右特別委員長

男爵 足 立 豊

貴族院議長公爵徳川家達殿

家畜再保險特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月九日

右特別委員長

男爵 足 立 豊

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵足立豊君演壇ニ登ル〕

○男爵足立豊君 只今議題ニ上ボリマシタ家畜保險法案、家畜再保險特別會計法案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、去ル五日正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ六日、九日ノ兩日ニ互リ質問應答ヲ重ネマシタ、本法制定ノ趣旨ニ付テハ先日本會議ニ於キマシテ當局ヨリ説明セラレタ通りデアリマス、其内容ノ大略ヲ申述ベマスレバ家畜ノ所有者ヲシテ家畜保險組合ヲ設立セシメ、家畜死亡ニ依ル損害ニ付テ生命保險ヲ營マシムルト云フコトデアリマス、其再保險ハ政府自カラ管掌スルノデアリマス、保險ノ目的タル家畜ハ牛ト馬、此二種類デアリマス、元受保險者タル家畜保險組合ノ區域ハ郡市ノ區域ニ依リマシテ、組合員ノ資格ハ其地區内ノ牛馬所有者トスルト云フコトデアリマス、組合ノ構成及保險關係ニ付テハ相互組織ニ準據スルモノデアリマス、此保險ノ危險分布ノ狭少ヲ補フ爲ニ政府ニ於テ鞏固ナル再保險ヲ供スルノデアリマス、委員會ニ於キマスル質疑ハ相當細目ニ互リマシタガ、其主モナルモノハ、本施設ハ我國ニ於キマシテ創始ノ事業デアルカラ、是ガ實施ニ當ッテハ農村ノ實情ト議會ノ期待ニ反セザルヤウ慎重ナル考慮ヲ加ヘラレタイト云フ希望モ述ベラレタノデアリマス、是ハ委員會ノ希望決議デハアリマセヌ、一委員カラノ申出デアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、全會一

致ヲ以チマシテ兩案トモニ原案ヲ可決イタスベキモノト決定イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 兩案トモ原案通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十、大正十五昭和元年度歳入歳出總決算、大正十五昭和元年度各特別會計歳入歳出決算報告、會議、委員長報告

昭和元年度歳入歳出總決算、大正十五昭和元年度各特別會計歳入歳出決算及既往年度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査シ

第一

第一讀會ノ續 第二讀會 第三讀會

大正十五昭和元年度各特別會計歳入歳出決算報告 會議

昭和元年度歳入歳出總決算 昭和元年度各特別會計歳入歳出決算報告 會議

第一

雜給及雜費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第九項艦營費中橫須賀、吳及佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、吳及佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出經常部司法省所管第三款刑務費第二項事務費中甲府刑務所ノ支出ニ係ル件、第三項收容費中甲府刑務所ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出經常部遞信省所管第二款遞信費第二項遞信事業費中大阪、廣島兩遞信局ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出臨時部外務省所管第四款在外國居留民臨時保護取締費第二項事務費中外務省ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出臨時部內務省所管第七款北海道拓殖費第一項殖民費中北海道廳廳振支廳ノ支出ニ係ル件、第五項道路橋梁費中北海道廳ノ支出ニ係ル件、第二十九款帝都復興事業費第一項東京復興費中復興局ノ支出ニ係ルモノ二件、復興局東京第二出張所ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第一款營繕費第八項朝鮮國境守備隊兵舍病室等改築費中朝鮮軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出臨時部商工省所管第六款製鐵所擴張費第二項工場費中製鐵所ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第二款電信電話營繕費第一項電信電話營繕費中大阪遞信局ノ支出ニ係ル件、第五款電話交換擴張費第二項事業費中大阪遞信局並廣島遞信局ノ支出ニ係ル件、熊本、仙臺兩遞信局ノ支出ニ係ル件、第六款電信擴張及改良費第二項事業費中大阪遞信局ノ支出ニ係ルモノ三件、第十六款震災復舊及新營費第一項電信電話施設費中遞信省ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管印刷局歲入第一款印刷局作業收入第一項作業收入中印刷局ニ於テ收入ニ至ラザリシ件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局作業費第二項事業費中東京地方專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管國債整理基金歲出第一

款國債整理基金支出第二項國債整理基金支出中大藏省ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲出經常部第五款刑務所第四項收容費中朝鮮總督府及西大門刑務所ノ支出ニ係ル件、第十六款鐵道作業費第三項諸拂戻立替金及缺損補填金中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件、歲出臨時部第七款鐵道建設及改良費第一項建設費中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常部第二款官業及官有財產收入第十一項官有物貸下料中新竹州ノ徵收ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管樺太廳歲出經常部第五款現業費第二項鐵道費中樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管陸軍造兵廠歲出第一款陸軍造兵廠作業費第二項事業費中陸軍造兵廠ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管帝國大學歲出經常部第二款京都帝國大學第二項校費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件、第三款東北帝國大學第二項校費中東北帝國大學ノ支出ニ係ル件、歲出臨時部第一款東京帝國大學第三項精神病室新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第四項醫院看護婦寄宿舍新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ二件、第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ二件

同上用品勘定歲出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

同上收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

大正十五年度歲入歲出總決算並大正十五年度各特別會計歲入歲出決算中外務省、內務省、大藏省、陸軍省、海軍省、司法省、文部省、農林省、商工省、遞信省、鐵道省各所管ニ於テ賞與及慰勞金ノ給與ニ係ルモノ二百二十二件

大正九年及歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第五款電話交換擴張

大正十年度

大正十五年度各特別會計歲入歲出決算報告 會議

貴族院議事速記錄第二十七號 昭和四年三月十一日 大正十五年度歲入歲出總決算 昭和元年度各特別會計歲入歲出決算報告 會議 七六七

費第二項事業費中臨時電信電話建設局東京出張所ノ支出ニ係ル件
大正十二年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第三項營業稅中神戶稅務署ノ徵收不足ニ係ル件

大正十二年度歲入歲出總決算歲出臨時部文部省所管第二款高等諸學校創設及擴張費第二項新營及設備費中九州帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中靜岡稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、第三項營業稅中京橋稅務署、神戶稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ二件、西稅務署ノ徵收過ニ係ル件、第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中北海道廳ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件

大正十三年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常部第一款臺灣歲入第一項租稅中臺南州ニ於テ所得稅ノ徵收不足ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管樺太廳歲出經常部第五款現業費第三項醫院費中樺太廳ノ支出ニ係ル件

大正十四年度歲入歲出總決算經常部第一款租稅第二項所得稅中伏見稅務署、神戶及幸橋兩稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件、四谷稅務署、住道稅務署、福井稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ三件、第三項營業稅中伏見稅務署、京橋稅務署、水戶稅務署、京橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ四件、西稅務署ノ徵收過ニ係ル件

大正十四年度歲入歲出總決算歲出經常部外務省所管第二款在外公館第六項在外國居留民取締費中外務省ノ支出ニ係ル件

大正十四年度歲入歲出總決算歲出臨時部外務省所管第四款在外國居留民臨時保護取締費第二項事務費中外務省ノ支出ニ係ル件

大正十四年度歲入歲出總決算歲出臨時部大藏省所管第十款震災復舊諸費第四項印刷局廳舍及工場其他復舊費中營繕管財局及內閣印刷局ノ支出ニ係ル件

大正十四年度歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第五款電話交換擴張費第二項事業費中熊本遞信局ノ支出ニ係ル件、第十四款震災復舊及新營費第一項電話施設費中遞信省ノ支出ニ係ル件

大正十四年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常

部第一款租稅第七項所得稅中臺南州、臺中州ノ徵收不足ニ係ルモノ二件、臺中州ノ徵收過ニ係ル件、歲出經常部第十三款專賣局第三項事業費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十四年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管樺太廳歲出經常部第五款現業費第二項鐵道費中樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル件、第三項醫院費中樺太廳ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第三 其ノ他異議ナシ

右之通議決セリ依テ及報告候也
昭和四年二月二十七日

決算委員長 侯爵 四條 隆 愛

〔侯爵四條隆愛君演壇ニ登ル〕

○侯爵四條隆愛君 決算委員會ノ報告ヲ申上ゲマス、本委員會ニ於キマシテ審查スル決算ハ、前議會ニ審查未了ニ終リマシタル大正十五昭和元年度ノ決算ト、本議會ニ提出セラレマシタル昭和二年度決算トデアリマシテ、昭和二年度ノ決算ハ目下審査中デゴザイマス、茲ニ報告イタシマスノハ其審査終了イタシマシタ所ノ大正十五昭和元年度ノ分デゴザイマス、大正十五昭和元年度ノ一般會計ニ屬スル分ハ經常歲入十四億五千二百四十九萬九千八百三十餘圓、臨時歲入六億三百九十五萬五千五百二十餘圓合計二十億五千六百三十六萬三千六百六十餘圓デゴザイマス、又之ニ對スル歲出ハ經常部ニ於キマシテ十億八千九百九十九萬三千四百七十餘圓、臨時部ニ於キマシテ四億九千六百八十三萬二千九百五十餘圓、合計十五億七千八百八十二萬六千四百二十餘圓デゴザイマシテ、差引四億七千七百五十三萬四千九百三十餘圓ノ剩餘金ヲ生ジタ譯デゴザイマス、前年度ノ特別會計ハ三十二會計トナツテ居リマシテ、其歲入ノ計數モ甚ダ繁雜デゴザイマスカラ、其金額ノ計上ハ茲ニ略シマス、此決算審查ノ結果ハ御手許ニ配付シマシタ報告書ニ一々其款項ヲ記載シタル通りデゴザイマシテ、第一政府ノ處置穩當ヲ關クト認メタルモノ二十件、次ニ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノ三百四十六件デ、其他ニ付テハ總

テ異議ナシト議決イタシマシタ、政府ノ處置穩當ヲ闕クト認メタルモノ二十件ノ内容ヲ申上ゲタウゴザイマスケレドモ、餘リ長ク煩雜ニ互リマスカラ、是ハ何卒速記録ヲ御覽願ヒタイト思ヒマス、次ニ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノ三百四十六件、此中年々同一事項ニ屬スルモノモアリマシタガ、何レモ政府ニ注意ヲ促スコトニ致シマシタ、尤モ此中ノ各省ノ慰勞金及年末賞與ノ支出方法ニ付テハ、毎年同一ノ批難辯明デアッテ、面白クナイコトゴザイマスカラ、是ハ何トカ方法ハナカラウカ、特ニ政府ノ注意ヲ求ムルトノ希望決議ヲ致シマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 決算委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナシト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十一、六大都市ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

六大都市ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

昭和四年三月七日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

第一條 本法ニ於テ市ト稱スルハ東京市京都市大阪市横濱市神戸市及名古屋市ヲ謂フ

第二條 市ハ從來ノ區域ニ依リ之ヲ府縣ノ區域外トス

第三條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝

從來法令又ハ慣例ニ依リ府縣若ハ市ニ屬スル事務及將來法律勅令ニ依リ

市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第四條 市ハ内務大臣之ヲ監督ス

第五條 市制其ノ他ノ法令又ハ慣例ニ依リ從來地方長官(東京府ニ在リテ

ハ警視總監ヲ含ム)竝府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所

ニ依リ主務大臣又ハ市長之ヲ行フ

第六條 市制其ノ他ノ法令ニ依リ從來府縣參事會ニ訴願シ得ヘキ事項ハ直

ニ之ヲ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七條 市ハ市制其ノ他ノ法令ニ依ルモノノ外從來ノ府縣稅及賦金ノ例ニ

依リ市稅及賦金ヲ賦課徵收スルコトヲ得

前項ノ賦課徵收方法竝賦金ノ支辨ニ付テハ府縣稅及賦金ニ關スル法令ヲ

準用ス

第八條 市ハ府縣ト其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲規約ヲ定メ内務大臣

ノ許可ヲ得テ府縣市組合ヲ設クルコトヲ得

府縣市組合ハ法人トス

府縣市組合ノ事務ハ内務大臣ノ指定シタル府縣知事又ハ市長之ヲ管理ス

府縣市組合ニ關シテハ府縣制第二百二十六條ノ三第一項及第二百二十六條ノ

四乃至第二十六條ノ七ノ規定ヲ準用ス

第九條 市制第七十條第一項ノ懲戒審査會ノ組織ニ關シテハ別ニ勅令ヲ

以テ之ヲ定ム

第十條 本法ニ規定スルモノノ外凡テ市制ノ定ムル所ニ依ル

附 則

第十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 本法施行ノ爲府縣ニ屬スル財產、營造物及事業ノ處分竝權利義

務ノ歸屬ニ關シ必要ナル事項ニ付テハ關係アル府縣會及市會ノ意見ヲ徵

シ主務大臣之ヲ定ム

第十三條 本法施行ノ際必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔阪本鈺之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 只今内務次官ハ見エマセウカラ、チヨト申上

ゲテ置キマス

○阪本鈺之助君 斯ノ如キ有様デアラガ故ニ私ハ質問ヲ致シタイト云フコト

ヲ豫テ考ヘテ居ル、殊ニ此六大都市ノ利害休戚ニ關スル法律案デゴザイマス

ガ、何時モ衆議院ガ會期ノ終ヒニ出ス、政府ハ之ヲ何時モ冷酷ニ取扱ッテ、又

議員モ常ニ審議ノ餘地ト云フモノハナイ爲デアリマセウカ、餘リ意ヲ留メラ

レナイノデアリマスカラ、此場合ニ於テ篤ト一ツ政府ノ御考ヲ聞イテ見タイ

ト存ジマシテ、餘程前カラ通告モ致シテ置イタノデアリマスガ、衆議院ノ發

案デ大切ナモノダト云フモノニ對シテ、政府ノ一員モ出席ヲ見ヌト云フコト

ハ、實ニ六大都市ト云フモノガ侮辱ヲ受ケテ居ル、六大都市ノ人ハ何ト思ッテ居ルノデセウカ、私ハ何モ六大都市ニハ直接關係ハナイケレドモ、此事ニ付テハ常ニ希望ヲ持チ主張ヲシテ居ル一人デアリマスカラ、此機會ニ於テ十分政府ノ意向ヲ聽イテ見タイト思ッテ居ルノデアリマスノニ、此狀況ハ如何デアリマスカ、之ヲ見テ六大都市ノ人ハ斯ノ如キ政府ノ侮辱ヲ受ケ、尙ホ黙々トシテ唯衆議院ノ御世辭的ノ發案ヲ見テ地方ノ人が上京シテ居ル、此上京ノ旅費ダケデモ六大都市ノ市民ノ非常ナ負擔トナッテ居ルノデ、斯様ナ狀態デアリナガラ……今日ハ與黨ノ人ナドガ動カセバ政府ガ何デモ動クノデアルガ、此狀況ハ甚ダ遺憾デアアル、是ハ議長ガドウ御扱ヒニナリマスカ、今大臣ガ二人オ出デニナリマスガ、遺憾ナガラ此方ノ御關係ノ御方デゴザイマセヌ、内務若クハ總理等ノ御出席ノ場合デナイカラ致方ガアリマセヌケレドモ、如何イタシタモノデゴザイマセウカ、斯ノ如キ一體政府ノ御考デハ私述ベマシタ所ガ値打ハゴザイマセヌカラ、モウ止メタ方ガ宜イカト存ジマスガ、如何イタシタモノデゴザイマセウカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 内務次官ハ只今見エラレル筈ニナッテ居リマスカラ、暫ク御待チテ願ヒマス

○阪本鈺之助君 如何ニモ私一人ガ熱心ニ希望イタスガ爲ニ、多數ノ議員諸君ニ御迷惑ヲ掛ケルノモ心無イ話デアリマスカラ、議長ガ御休憩ニセラレマスカラ、或ハ最早私ガ居ラスモノトシテ御進行下サイマスカ、ドチラカニ御願ヒ致シマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 只今交渉中デゴザイマスカラ……阪本君ニ申上ゲマス、只今内務次官ハ委員會デ説明中デゴザイマスカラ、佐上政府委員ヨリ御答ヲ致シマス

○阪本鈺之助君 已ムラ得マセヌト存ジマスガ、併シ全ク……モウ午餐ノ時間ガ參ッテ居リマシテ、實ニ議員諸君ニ對シマシテ相濟ミマセヌガ、折角議長ガ御心配ヲ下サッタノデゴザイマスカラ、登壇ヲ御許シ願ヒマシテ、成ダケ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

〔阪本鈺之助君演壇ニ登ル〕
○阪本鈺之助君 只今議席ヨリ申述ベマシタ通りノ經過デアリマシテ、少シ變則デモゴザイマセウガ、私ハ此六大都市ニ關スル法律案ガ衆議院ヲ通過イ

タシテ貴族院ニ廻ルト云フコトモ承知イタシマシタカラ、質問ヲ致シタイト云フコトヲ事務局マデ通告ヲ致シタノハ、兩三日以前ノ事デゴザイマス、尤モ政府ヘ御交渉ニナリマシタノハ今朝デアルカモ存ジマセヌガ、政府ガ此六大都市ト云フモノノ市制ヲ如何ニ扱フベキカト云フコトヲ考慮中ニ持ッテ居リマスレバ、此場合何人カ出席ヲ致サレテ、政府ノ考ノアル所ヲ申述ベラレルコトハ義務デモアリ、又責任デアルト思フノデアリマスニモ拘ラズ、再三議長ノ御使ガ立チマシテ、漸ク地方局長ガ出席セラレルト云フ此一事實ヲ以テ見テモ、此六大都市ノ市制ト云フモノヲ如何ニ扱フベキカト云フコトノ政府ニ考ヘノナキ、又冷淡デアルト云フコトハモウ現シ得テ明瞭デアリマス、故ニ私ハ此實景ニ於テ最早私ハ多言ヲ費ス必要ガナクナッテ誠ニ結構ト存ジマス、是ハ單リ政府ヲ責メルバカリヂヤナイ、東京市ト云フモノガ多年此府トノ間ニ重複ノ機關ガ置カレルト云フコトハ誠ニ其困ル、早く市ハ獨立イタシ、内務大臣ノ直轄ヲ受ケタイト云フコトハ、多年ノ希望デアッテ又尤モナルコトダト思フノデアリマス、然ルニ果シテ市ガ獨立ヲ政シマスレバ區域ヲ如何ニスルカ、甚シキハマルデ八王子マデモ東京市ニシテシマハウト云フヤウナ議論ガ稍有カニナッテ居ル、是ハ如何ニモ先ヅ當リ前ノ考カラ見マスレバ、隨分法外ナ案ヂヤナイカト思ヒマス、然ラバ穩當ノ議論ハ今現ニ東京市ヲ包圍シテ居ル澁谷トカ、品川方面トカ、或ハ此西ノ方ニハ澤山大キナ町ガアリマス、皆ナ十万二十万ノ人口ヲ持ッテ居リマスル町ガアリマスカラ、ソレ等ヲ包含イタシ、恰モ大阪市ガ兩三年前行ヒマシタ市ノ編入ヲ行ヒマシテ東京市ヲ形ツクルト云フコトガ一番穩當ナルコトダラウト存ジマスガ、是亦強イテ東京市ガ努力スルデモナケレバ、政府モ之ヲ援助スルノデモナシ、各ソレソレノ考ヘガアリマシテ、又八王子邊ハサウ云フコトヲシテ貫ッチャ困ルカラ、ドウカ東京市ガ獨立スルナラバ一緒ニシテ貫ヒタイト云フ運動ガアルラシイ、色々ナコトニ掣肘ヲセラレテ足モ手モ出ヌト云フ形デアルト想像セラレマス、現ニ大正十一年ニ水野君ガ内務大臣ヲシテ居ラレタ時分ニ、大都市制度調査委員會ト云フモノヲ作ラレマシテ、之ニ種々ナル方面ノ人ヲ集メマシテ、隨分相當ノ調査ヲ致シ、其成案ハ出來テ居ル、ソレガ直チニ其内閣ガ繼續イタシテ居レバ實行セラレルモノト思フテ居ッタ所ガ、内閣モ其中變リ、又ソレニ付テ今申シタ八王子ガ入リタイトカ、或ハ市長ヲ官選ニスルカ、矢張り今日ノヤウニ公選ニスルカト云フコトモ一ツノ議論デアリマシタ、或ハ警察權ノ一部ガ欲

シイトカ欲シクナイトカ云フヤウナ議論モアリマシタガ、警察ノコトハ彼此レ言ッテ居ルト際限モナイカラ、暫ク別ニシテ、市長ノ官選ト云フコトモ隨分其當時ハ甚ダ古ボケタヤウナ議論ノヤウデアリマスケレドモ、ドウモ東京市ノ現狀ヲ見テ、寧ロ市長ダケハ官選ガ宜クハナイカト云フ議論ガ餘程有力デアリマシタ、ソレ等モドチラガ宜イカト云フヤウナコトハ略、方針ハ誰ノ頭ニモ決マツテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハソレ等ニ付テ、更ニ内閣ガ變ッテモドウシテ見ヤウト云フヤウナ考モ深クハ用キテ居ラレナイヤウニ見エル、而シテ最モ不思議ニ思ヒマスルノハ、六大都市ノ人デアリマス、東京市ハ今日活動スベキ市會ガナイノデアリマスカラ、已ムヲ得ヌト言ヘバ已ムヲ得ヌノデアリマスガ、東京市ト云フモノガ、市會ガ存在シテ居ル時デモ、又之ヲ言ヒ換ヘテ見レバ、東京市民ト云フモノガ大變是ハ市制ノ上ナドニ於テモ關係ガアリ、府ト市トガ兩立シテ居ッテハ詰ラヌト云フコトハ能ク分ッテ居ル問題デアアルニ拘ラズ、ソレヲドウシテ見ヤウト云フコトヲ一番サウ云フコトニ働キサウナ名譽職ノ諸君ハ、何かサウ云フ自分等ニ取ッテ利害關係ト云フモノガアル爲ニソレデ動かナイ、餘リ動かナイ、動イタヤウナ形ハシマスケレドモ、本當ニ動イテハ居ラス、其故ニ政府モ刺戟ガナイカラ動カレヌデヤナイカ、若シヤルト或部分ノ人々ハ御機嫌ガ惡イト云フヤウナコトデハナイカ、ドウモ變デアアル、所ガドウモ近頃大阪初メノ五大都市ガ大分動イテ來マシテ、是非府知事ノ管理、若クハ府知事、縣知事ノ範圍ヲ離レテ内務大臣ノ直轄ヲ受ケタイト云フコトノ外……寧ロ幾分熱心ニナッテ來タ爲ニ、何時モ御付合ニ東京市ハ這入ッテ居ルト云フ形ノヤウニ見エテ居ル、大阪市ノ如キハ總テ此自治體ノコトハ東京市ナドヨリ優ッテ居ルト存ジマスガ、區域モ先年廣ク致シマシテ、區ガ澤山出來マシタ、アレヘ持ッテ行ッテ、チャント大阪府知事ノ範圍ヲ離レテ立テバ立派ニ行ケルヤウニ形ハ出來テ居ル、故ニ大阪アタリハ非常ニ望ンデ居ルヤウニ思ハレル、其他ノ市ニ於テモサウ云フコトヲ望ンデ居ルノハ相當ニ望ンデ居ルヤウデアリマシテ、何時モ此議會ガ開ケルト、ソレニ對シテ所謂運動員ガ五大都市カラ出テ來ル、平生デモ、イヤ市長會議デアラ、若クハ市會議長會議デアルトカ云フヤウナコトヲ時々開カレマス、何時デモ問題ノ一ツニ市ノ獨立問題ガ出テ居ルニ拘ラズ、各其都市カラハ代議士モ出テ居リマス、ソレ等ニ付テ能ク打合セテ致シテ議會ガ召集セラレタナラバ、劈頭第一ニ發案スベキ問題デナイカト思フ、又政府モ何時モ何時モ衆

議院ノ發案ヲ俟タズニ、大抵ノ所デ決シテ發案ヲセラレタラ宜サウナモノト思フ、ドウシテモ出サナイ、衆議院モ誠ニ義理ニ出サレルノデアリマスカ、何時デモ此會期ノ末期ニ當ッテ、今度モサウダ、出シテ來テ貴族院デハ迎モ此重大ナル問題ヲ審議ナサル期間ヲ與ヘナイカノ如キ期間ニ於テ出スノデアラ、サウスレバ衆議院ガソナ冷淡デアアル、政府モ冷淡ナラバ、阪本一人ガソナニ氣ヲ揉マヌデモ宜イチャナイカト仰シヤレバソレ迄ノ問題デアリマスカ、餘程此間ノ消息ヲ知ッテ居リマス私共カラ見ルト、早ク既ニ何トカ政府ハ考ヘテ結末ヲ付ケラルベキ問題デナイカ、毎年府縣制ノ改正、市町村制ノ改正ト言ッテヤウナモノガ必ズ何カ出マス、今期ノ議會ニモ現ニ出テ居ル、今正ニ貴族院ニ於テ審議中デアアル、私共ニ言ハセルト、サウ云フ誠ニ參事會員ノ數ヲ減ストカ減ラサヌトカ、任期ヲ延バストカ延バサヌトカ、或ハ誰ガドウトカ言フ枝葉末節ノ改正ハ度々行ハレマスガ、一番根本ノ六大都市ノ市制ヲ如何ニスルカト云フ問題ニハ決シテ觸レテ居ラス、何時デモ本員ハ質問致シマスルト、尙ホ考慮シテ居ルトカドウトカ云フ當座逃レノ御答辯ヲナサルノデアリマス、此狀況デアッタナラバ、六大都市ノ人々ニ思切ッテ止メテ貰フカ、若クハシツカリヤルカ、貴族院ノ議員ハ斯ノ如キコトヲ心配セヌデモ宜シイノデアリマスガ、此爲ニ六大都市ノ市民ハ少カラヌ費用ヲ拂ッテ居ル、今モ現ニ地方カラハ出テ居ラレルノデアアル、市參事會員ト云フヤウナモノガ代ル、出テ居ラレル、何處ヲ一體ドウ運動シテ居ラレルノデアリマスカ、ソレデヤット衆議院ニ發案シテ貰ッテ、サウシテ衆議院ハ誠ニ旨判ナドト申シテハ失禮カ知リマセヌガ、旨判的ノ決議ヲシテ、サウシテサウサット貴族院ヘ送ッテ居ラレルト云フヤウナ狀況デアアルノデアリマスカ故ニ、只今私共ガ衆議院ノ諸君ヲ責メルトカ、六大都市ノ人々ヲ責メルトカ云フコトハ、私ハ今ノ此立場デドウスルトトモ出來マセヌカラ、唯甚ダ御氣ノ毒ナモノデアアル、不都合ナルモノデアルト思ッテ居ルダケデアリマスカ、直接ソレニ當ラレル政府ハ、ドウ一體之ヲ考ヘテ居ラシヤルノデスカ、何時迄コンナコトヲシテ御置キニナルノデアアルカト云フコトヲ根本的ニ伺ッテ見タイガ故ニ、相成ルベクハ内務大臣、少クモ政務次官等ノ最モ責任ノアル御答辯ヲ得タイト存ジマスルノニ拘ラズ、只今申上ゲマシタ通り、他ニモ重要ナコトガゴザイマセウ、ゴザイマセウカラ、衆議院ノ發案ニ對シテ唯一議員ノ質問位ニ出テ居ル暇ガナイト云フコトデゴザイマスカ、誠ニ遺憾ナルコトデアルト存ジマス、併シ地方局長ハ最モ此關係ノ

深イ主任者デアリマスガ故ニ、政府ハドンナコトヲ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ御聞カセ下サルニハ、寧ロ政務官タル大臣次官ヨリハ要領ヲ得テ居ルカモ知リマセヌガ、是ハ仰シヤリタイコトモ仰シヤルコトガ出來ナイ立場カラ、阪本ノ言フノハ尤モダト考ヘテ居ルガ、御尤ナコトデアアルト仰シヤルコトハ出來ナカラウト思フ、故ニ却テ妙ナモノト存ジマスケレドモ、結末ガ付キマセヌカラ地方局長ノ御答辯ヲ得テ、假ニ、満足ハ參リマセヌケレドモ引下ルヨリ仕方ガナイト存ジマスカラ之ニ立チマシタ、實ニ御食事ノ時間ヲ妨ゲタト云フコトハ誠ニ相濟マヌト思ヒマスケレドモ、是ハ阪本ノ爲メデナイトドウゾ御承知願ヒタイノデアリマス

〔政府委員佐上信一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(佐上信一君) 只今阪本サンヨリ特別市制ノ問題ニ付テ當局ノ所見ヲ御尋ネニナリマシタ、ソレニ付テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、此大都市ニ對シマシテ特別ノ制度ヲ設ケルコトノ必要ト云フモノハ認メテ居リマス、併ナガラ是ハ中々沿革ノアル問題デアリマシテ、帝都タル東京ニ對シマシテ特別制度ヲ設ケルニ止ムルカ、或ハ他ノ大都市ニ對シマシテ、即チ現今デ申シマス所謂六大都市、東京市ヲ除ケバ五大都市デアリマスガ、ソレニ對シマシテモ特別ノ制度ヲ布クノ必要ガアルカドウカト云フコトハ、是ハ餘程考究ヲ要スル問題デアリマス、ソレデ、此政府ノ方ニ於キマシテモ、歴代ノ内閣ニ於テ、都市ノ特別制度ニ付キマシテハ繼續シテ調査ヲ致シマシテ、各種ノ成案ヲ有ッテ居リマス、既ニ大都市調査會ト云フヤウナモノガ出來マシテ、東京市ニ對スル特別制度ト云フヤウナモノモ其際調査審議サレタ案モ有ッテ居リマス、併ナガラ是等ノ案ヲ以テ致シマシテモ、未ダ提案スルダケニ満足ナルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ大都市特別市制ト申シマスルモノハ、二ツノ方面デアリマスガ、一ツハ行政上ノ獨立、他ノ一ツハ財政上ノ獨立ト云フコトニナリマスルガ、行政上ノ獨立ヲ致シマスル場合ニ於キマシテモ、行政組織ノ問題ヲドウ云フ風ニスルカ、又大都市ノ區域ヲドウ云フ風ニスルカ、又財政上ノ問題ニ致シマシテモ、大都市ト大都市ヲ包容スル所ノ郡部トノ財政關係ヲ如何ニスルカト云フコトニナリマスルト云フト、東京ヲ初メ他ノ五大都市共ソレト、市部ト郡部トノ間ノ事情ガ違ッテ居リマシテ、或ハ市部ガ獨立シタ際ニ、アトノ郡部ガ獨立スル能力ヲ有ッテ居ル所モアリマスルシ又獨立ノ能力ヲ有ッテ居ナイ所モアリマシテ、畫一的ニ各大都市ニ通ズルヤウ

ナ特別制度ト云フモノハナカク、是ハ困難ナルコトト考ヘテ居リマス、併ナガラ年々衆議院ニ於テハ熱心ニ六大都市ノ關係者ヨリハ特別制度ノ制定ト云フコトニ付テノ議案モ出マスル、之ニ付テハ成ルベク速ニ當局ニ於キマシテモ相當ナ成案ヲ得マシテ、サウシテ議會ニ提案シタイト云フコトハ考ヘテ居リマスケレドモ、前述ベマシタヤウナ調査上各種ノ方面ニ互リマスル關係上カラ致シマシテ、本年ハ之ヲ提案スルニ至ラナイヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 現地方局長ガ只今ノ御答辯ヲナサルノハ是ハ御尤カト存ジマス、毎年政府ノ當局ハ紋切形ノ如ク只今御述ベニナリマシタヤウナ御答辯ヲ御述ベニナッテ居リマス、又ソレデ議會ハ濟ムノデアリマス、何時マデニ一體此御調査ガ濟ムノデアリマスカ、事柄ニ依リテハ、中々敏速ニオヤリニナルノデアリマスガ、此問題ニ付テハ、只今東京ニ大都市制度調査會ト云フモノガアリマシテ、大正十一年其時ニ立派ナ成案ヲ内務大臣ニ提供シテアル、爾來八年掛ッテ愚圖々々シテ居ルカラ、今度大阪ヤ京都、名古屋アタリガ又ヤリ出シタ、他ノ五大都市ガ言ヒ出シタト云フコトハ、其後ノコトデアアル、翌年カ翌々年位ノコトデアアル、ソレデモ五年カ六年ニハ相成ッテ居ル、只今仰シヤッタ通り毎年衆議院ニ於テ、兎ニ角衆議院デハ大體大改正ヲ企ルト中々政府ノ同意ヲ得難イト考ヘタノデアリマスカ、全ク現今市制ニチヨット修正ヲ加ヘタヤウナモノデ、唯府縣知事ノ監督ヲ離レタト云フダケノ簡單ノ案ガ出テ居ル、是ナラ宜イトカ是ハイカヌナライカヌト云フコトヲ、政府ハ宜シク次ノ議會デ、次ノ議會デナク……年々出テ居ルノデアリマスカラ五十六議會ニハ何等カ物ニナッテ出ルベキ筈デアアルノニ、何時マデモ斯ウ云フコトヲ調査シテ居ルト云フ御話デアリマシテ、誠ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、併シ五十六議會ハ將ニ今ヤ盡キムトシテ居ル、貴族院ハ之ヲ審議ナサルト云フコトハ或ハ難イコトデハナイカト思ヒマスカラ、又地方局長ハ事務官デ在ラレマスカラ、内閣ガ代ッテモ御勤メニナッテ居ラレマスカラ、次ノ議會ニハ是非何トカ目鼻ガ明クヤウニ、又内閣ガ代リマシテモ、尙ホ代ラナケレバ尙更ノコト……次ノ内閣ニハ是非御考ヘ下サルヤウニ地方局長ニ御斡旋ヲ願ヒタイ、又現内務大臣ニ對シマシテハ何トカ御考慮ナサルベキモノデアルト云フコトヲ申述ベテ、私ノ質問ヲ終リマス

○副議長(侯爵須賀正韶君) 本案ハ府縣制中改正法律案外四件ノ特別委員

ニ付託イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十二ヨリ第二十四請願、會議

意見書案

日豊線鐵道杆築、日出兩驛間ニ停車場設置ノ件

大分縣遠見郡大神村長利光哲夫外四名呈出

右ノ請願ハ日豊線鐵道杆築、日出兩驛ノ中間ニ介在スル大神村其ノ他ノ村落ハ戸口多ク將來有望ノ農産地ナルニ拘ラス交通機關タル同線路ハ一方ニ偏在シ爲ニ既設驛ニ至ル距離遠ク住民ノ不利不便尠少ナラサルハ地方産業開發上甚遺憾ナルヲ以テ杆築、日出兩驛間ニ停車場ヲ設置シ鐵道利用ノ恩惠ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

軍人傷痍記章令中改正ノ件

静岡縣磐田郡西淺羽村平民農前島三郎平呈出

京都市上京區油小路通平民磯野芳造呈出

廣島縣尾道市土堂町平民商鈴木卯吉外四名呈出

京都市油小路平民農土田巳之助外二名呈出

滋賀縣神崎郡八幡村平民農徳岡實次郎外四十六名呈出

廣島縣廣島市八丁堀町平民教師楠原仙太郎外十九名呈出

京都府葛野郡花園村平民農河崎宗吉呈出

香川縣木田郡川島町平民農小野坂喜三郎外三十七名呈出(三通)

滋賀縣伊香郡伊香具村平民漁業横井藤七外七十二名呈出

秋田縣雄勝郡西馬音内町士族商笹森源吉外十九名呈出(三通)

廣島縣安佐郡伴村平民商甲田三郎外六名呈出

愛知縣豐橋市湊町士族商齋藤貞外十三名呈出

奈良縣宇陀郡三本松村平民農山中安松外二十六名呈出

秋田縣仙北郡清水村平民農佐々木與五郎外十七名呈出

神奈川縣横濱市中區麥田町平民石田定五郎呈出

右ノ請願ハ軍人ニシテ傷痍ヲ受ケ兵役ヲ免除セラレタルハ假令傷痍ノ輕重アリト雖兵役義務ニ服シ國家ニ盡スコト敢テ軒輕ナキニ拘ラス軍人傷痍記章令ハ軍人傷痍記章受領者ヲ増加恩給受給者ニ限り一時恩給受給者ヲ除外スルノ差別ヲ附シタルノミナラス願出ノ條件トシタルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同令ヲ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

雄武、枝幸間鐵道敷設ノ件

北海道紋別郡雄武村旅人宿營業木村京松外二百六十名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別郡雄武村、枝幸郡枝幸村間ノ鐵道ヲ敷設スルハ北興濱線、南興濱線鐵道ノ中絶セル地點ヲ連絡スルモノニシテ且沿線地方ノ豐富ナル水産、林産、農産等ノ資源開發上重要線路ナルニ拘ラス未實現ナキハ産業發展上竝交通上甚遺憾ナルヲ以テ之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

水産統計整備ニ關スル件

東京市麴町區内山下町帝國水産會會長男爵村上隆吉呈出

右ノ請願ハ本邦ニ於ケル水産統計ハ近時漸ク改善セラレツアルモ未不完全ニシテ水産經濟ヲ捕捉シ能ハス爲ニ公私ノ施設又ハ企業ノ基礎資料タルニ適セサルモノ多キハ遺憾ナルニ依リ速ニ適當ノ方法ヲ講シ以テ信憑スル

ニ足ルヘキ水産統計ヲ整備セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

船木鐵道線路ニ關スル件

山口縣厚狹郡吉部村平民公吏藤本東雄外五百六十八名呈出

山口縣厚狹郡船木町士族公吏岸田豐輔外十二名呈出

右ノ請願ハ船木鐵道ハ元來山陽本線鐵道宇部驛ト未成線小郡線鐵道太田驛トノ區間ノ敷設ヲ認可セラレ其ノ沿線地方ハ夙ニ林産、鑛産等ノ資源ニ富ミ有望ノ線路ナルニ拘ラス未成線小郡線鐵道決定以來山口縣美禰郡眞長田村字十文字ト太田驛間ノ敷設認可ノ取消ヲ被レリ加之既設區間ノ營業上打撃大ナルハ交通上並産業上甚遺憾ナルニ依リ之カ買上ト共ニ吉部驛ト十文字間ヲ豫定線ニ繰入レラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

鍼灸醫師法制定ノ件

大阪市北區南森町士族車戸喜一郎外千二百八十五名呈出

右ノ請願ハ鍼灸醫師ハ其ノ職責重大ナルニ拘ラス斯業ニ關スル法制ノ未整備セラレサルハ國民保健上甚遺憾ナルニ依リ速ニ鍼灸醫師法ヲ制定シテ其ノ資格、資格試験並同醫師會ノ設置等ニ關シ請願人等所案ノ如キ要項ヲ具備セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

名松線鐵道速成ノ件

三重縣一志郡伊勢地村長岸野定次郎外六名呈出

右ノ請願ハ未成線鐵道名松線鐵道及三重縣名張町ヨリ奈良縣櫻井町ニ達スル豫定線鐵道ノ敷設速成ヲ圖ルハ沿線地方ニ於ケル農産、林産等豐富ナル資源ヲ開發スルノミナラス運輸交通上至大ノ便益アルモノナルニ依リ速ニ之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

盲人保護法制定ノ件

東京府北豐島郡高田町鍼按業齋藤武彌外七十八名呈出

右ノ請願ハ我國ニ於ケル約十萬ノ盲人ニ對シ教育、授産ノ途ヲ講シ或ハ一定ノ個所ニ收容シ以テ生活ノ保障ヲ與フル等之カ救護ヲ圖ルハ刻下ノ急務ナルニ拘ラス未何等見ルヘキ施設ナキハ社會政策上甚遺憾ナルニ依リ速ニ盲人保護法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

震災荒廢林地復舊ニ關スル件

神奈川縣橫濱市神奈川縣山林會長池田宏外七名呈出

右ノ請願ハ關東大震災ニ因ル荒廢林野ノ復舊ハ國土ノ保安及産業振興上最重且切ナルニ拘ラス曩ニ政府カ大正十二年度ヨリ七箇年ニ涉リ關係府縣ニ

對シ復興補助金ヲ交附シタルモ今尙該既定計畫外ノ荒廢地多ク洪水旱魃等
多大ノ禍害ヲ受ケツツアルハ甚遺憾ナルヲ以テ之カ復舊事業ノ範圍ヲ擴張
シ繼續完成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

一時金癸兵恩給法改正即行ニ關スル件

愛知縣渥美郡高師村平民農中島金藏外十六名呈出

神奈川縣横濱市中區麥田町平民石田定五郎呈出

右ノ請願ハ世態ノ進運ト經濟界ノ推移ニ伴ヒ文武官ノ恩給ハ漸次改正セラ
レタルニ拘ラス軍人傷痍者ハ單ニ一時金ヲ受ケタルモノアルモ生活上何等
ノ保障ナク爲ニ今ヤ窮境ニ陥レルモノ尠カラサルハ國民士氣振興上甚遺憾
ナルニ依リ速ニ恩給法ヲ改正シ以テ一時金傷痍者及無償傷痍者ニ對シテモ
優遇安定ノ途ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル件

兵庫縣武庫郡御影町平民教員中島信治外八名呈出

香川縣綾歌郡瀧宮村教員笹島佐吉外十七名呈出

右ノ請願ハ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ獨立セシメ其ノ整備
充實ヲ圖ルハ優良ナル農業教員ヲ養成シ以テ將來益増加セムトスル該教員
ノ需要ニ應セシムルモノナルニ依リ速ニ之ヲ實現シ農業教育ノ普及ヲ圖ラ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

美國漁港修築ノ件

北海道美國郡美國町平民漁業磯野定繁外百七十二名呈出

右ノ請願ハ北海道美國郡美國港ハ積丹半島ノ中樞ニ位シ有望ナル沖合漁業
ノ策源地トシテ本道屈指ノ好漁業地ナルニ拘ラス既設ノ防波堤ハ規模狹少
ニシテ未漁船ノ收容避難ニ便ナラス爲ニ遭難スルモノ尠カラサルハ斯業ノ
進展上甚遺憾ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ工事容易ナル同港ヲ修築セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

厚內漁港修築ノ件

北海道十勝郡大津村公吏小野喜三郎外二百十四名呈出

右ノ請願ハ北海道十勝郡大津村ハ其ノ位置太平洋ニ面シ住民ハ從來
漁業ヲ以テ主要産業トナシタルニ拘ラス沿岸ノ地形屈曲ニ乏シク未一個ノ
漁港ヲモ有セサル爲漁撈從業ヲ波浪ニ阻メラルルコト多ク加之一朝天變ニ
際會セムカ被害甚大ニシテ斯業ノ益萎靡スルハ同道拓殖上遺憾ナルニ依リ
速ニ同村內厚內ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ御報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 次ノ日程ハ彙報ヲ以テ御報告ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後零時十二分散會